

■施工される方へのお願い


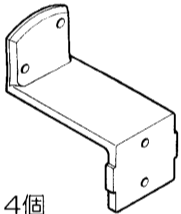

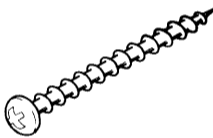
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 面格子の落下・転落防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・面格子は手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がありません。
 - ・当製品は木造躯体専用です。ALC・RC等の躯体には使用しないでください。
 - ・取付け前に必ず、柱・間柱の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
 - ・取付けは必ず指定のねじを使用し、外壁だけでなく必ず柱等の躯体にねじ止めしてください。
 - ・壁厚が30mm以上の場合は、必ず厚壁用のねじを使用してください。
 - ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ねじ類を指定の数量使用してください。
 - ・外壁のガイド穴は、柱まであけないでください。
 - ・取付けは必ず指定のねじを使用し、外壁だけでなく必ず柱等の躯体にねじ止めしてください。
 - ・下穴（躯体側）はφ3mmのドリルを使用してください。
- 下穴（躯体側）には必ずコーキング材を充てんしてください。（コーキング材を充てんしないと漏水の原因になります。）

■部品一覧

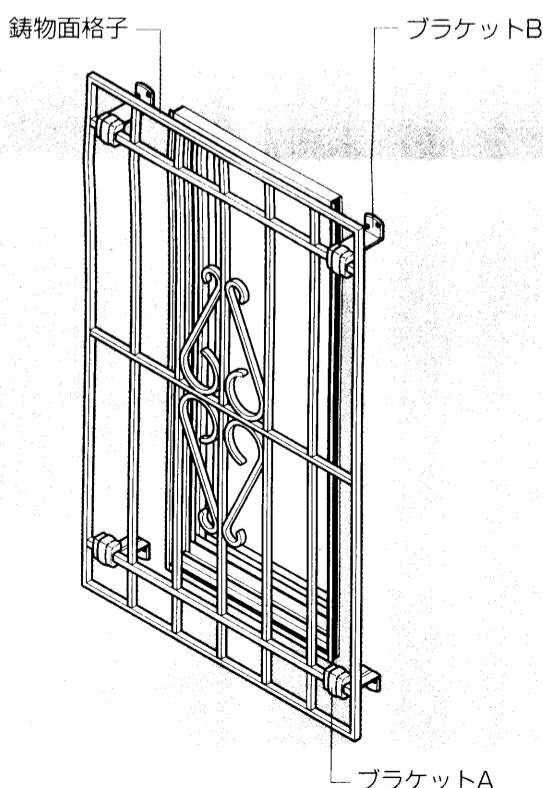
ブラケットA	ブラケットB	トラス小ねじ M4×14	ナベタッピンねじ φ4×50
			
4個	4個	8本	8本

■施工上のお願い

- ねじは必ず締め付けてください。
- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。
- 不在の時は、人が侵入するおそれがありますので窓を施錠してください。

■取付け手順

- 1 ブラケット取付けの確認
- 2 ブラケットの組立て
- 3 面格子の取付け



■取付け詳細

1 ブラケット取付けの確認

- 取り付ける際ブラケットが、サッシ枠に干渉しないようにブラケット取付け位置 w (ブラケット内々寸法) を測ります。

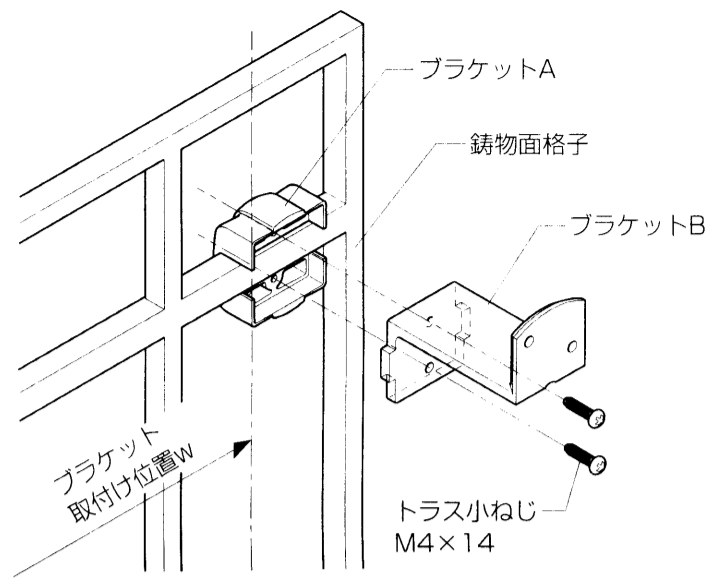


2 ブラケットの組立て

- ブラケット取付け位置wを確認した上で、ブラケットAを面格子表側の横格子に、はめ込みます。裏側からブラケットBをトラス小ねじ M4×14で固定し、面格子とブラケットを組み立てます。

▲ 注意

- 指定のねじで必ず締め付けてください。

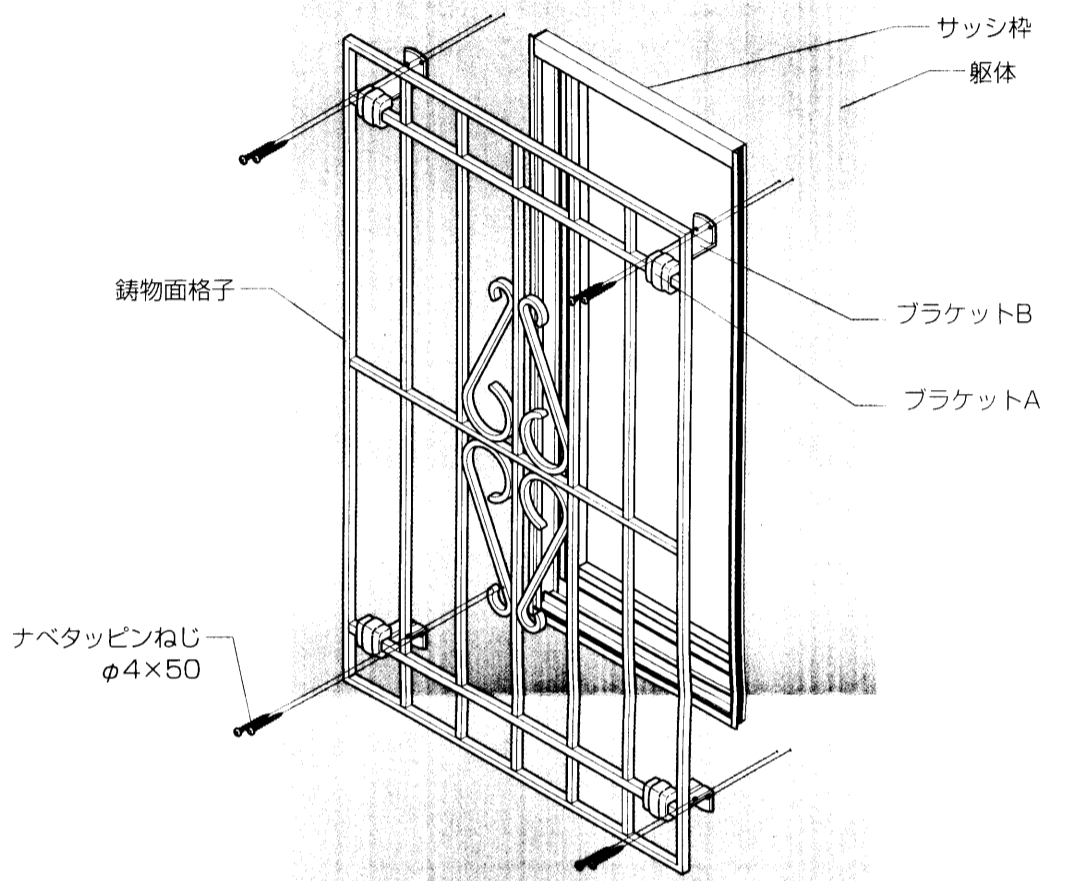


3 面格子の取付け

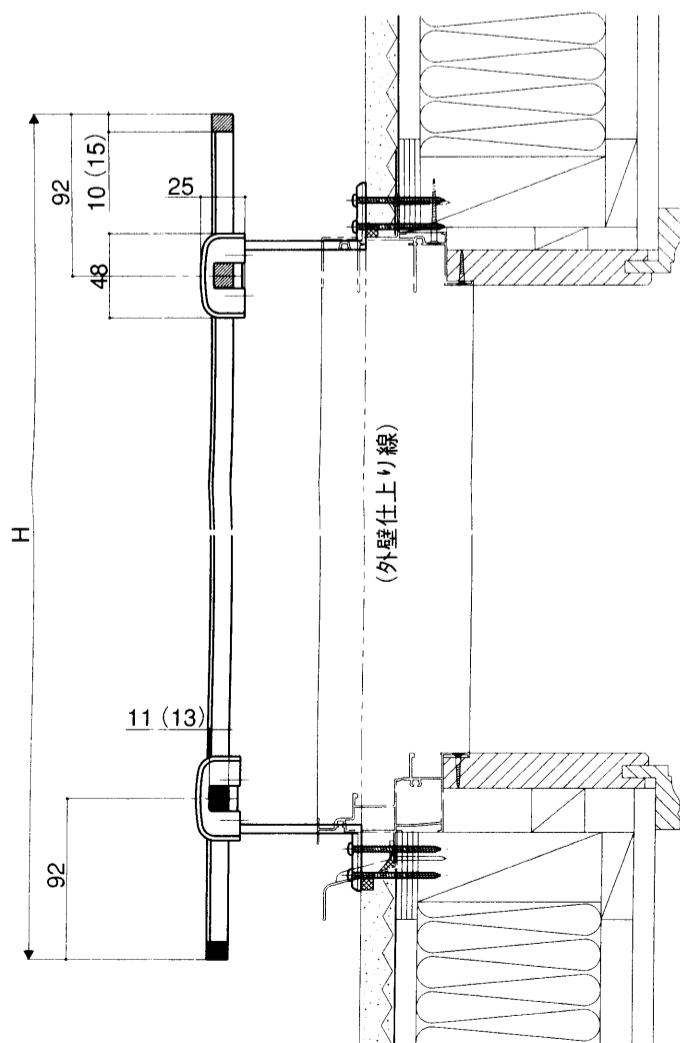
- ブラケット取付け穴位置にφ3mmのドリルで下穴を明け、シーリング材を充てんした後、ナベタッピンねじφ4×50で確実に固定します。

▲ 注意

- ブラケットは必ず柱に、指定のねじで取り付けてください。柱のない部分には取り付けてください。
- 指定のねじで必ず締め付けてください。
- 下穴（躯体側）には、必ずコーキング材を充てんしてください。



■参考納まり図



▲ 注意

- 必ず柱等に取り付けてください。

